



TOPIC

EcoVadis社のサステナビリティ調査で
最高位の「プラチナ」評価を獲得

180カ国以上の国、220以上の業種、
130,000社以上のサプライヤー企業
の持続可能性を評価する国際機関
EcoVadis社。ナガセヴィータはスコア
が上位1%以内の企業が認定されるブ
ラチナ評価を獲得しました。



お問い合わせ先

ナガセヴィータ株式会社

コミュニケーションデザイン部

〒700-0907 岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル新館

TEL.086-224-4311(代) FAX.086-224-8492

ナガセヴィータ サステナビリティサイト

<https://group.nagase.com/viita/sustainability/>

発行年月:2024年7月



よりよい未来を迎えに ナガセヴィータは走りはじめました。

明治16年の創業以来、微生物や酵素の可能性を探り、その力を活用したモノづくりを行ってきた当社には、「生命を尊び生物に学ぶ」という姿勢がDNAとして刻まれています。先人たちが積み上げてきた軌跡を振り返ったうえで未来に思いを巡らせて、社員とともにパーパス「生命に寄り添い、人と地球の幸せを支える」を策定しました。そして、2024年4月、社名を「林原」から、共生・共創の意思を含めた「ナガセヴィータ」に変更しました。この新たなスタートを切るタイミングで、サステナビリティの国際的な評価機関であるEcoVadis社から最高位のプラチナ評価を獲得できたことは、わたしたちにとって、とても大きな励みとなっています。わたしたちはパーパスを胸に、これからも技術とモノづくりに研鑽を重ねて素材を開発し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。同じ志を持つステークホルダーの皆さまと連携できることを、心から願っています。手をたずさえ、真にサステナブルな未来を迎えにいきましょう。



代表取締役社長 安場 直樹

社名に込めた想い



「Viita」は事業のテーマである「生命、暮らし」を表すラテン語“Vita”に、“i”を加えた造語です。並んだ“ii”は、共生と共創のシンボル。世界中の企業や研究者、世代を超えたすべての方々と力をあわせ、まだ生まれていない生命にまで想いをはせながら、人と自然が真に共生する未来を共創するという意思を含めています。

新社名決定から発表までのストーリー

社員の意見を尊重し、 検討を重ねて決定した新社名

慣れ親しんだ社名を変えることに戸惑う社員もいるはずの思いがありました。そこで先行で進んでいた「パーパス（存在意義）」と社名を一体で考えることとし、ワークショップや全社アンケートで社員の生の声を聞きました。自分たちはなぜ社会に存在しているのか。わたしたちの強みや提供価値は何か。社員参加型で紡ぎだした言葉を元に新社名を検討し、10年後、20年後の未来を拓くイメージも踏まえて決定しました。パーパスは、創業以来大切にしてきた「生命」「幸せ」という言葉も織り込み策定しました。2023年8月10日。約750名の社員が見守るなかで新社名の記者発表会を実施しました。140年の歴史を紐解きながら、モノづくりのDNAや未来に向けた想い、そして新社名に込めた意志を表明しました。





PURPOSE

—わたしたちの存在意義—

生命に寄り添い、 人と地球の幸せを支える

微生物や酵素など自然の力を活かして多様な素材を生み出し、人と地球の幸せを支えることがNagase Viitaの存在意義です。自然の恵みから生まれた小さな素材でも、さまざまなパートナー企業との共創によって幅広い領域に広がり、よりよい未来を築く大きな支えになると考えます。



VALUES

—わたしたちはこう動く—

PURPOSEの実現にむけて、人と自然が真に共生する未来を目指し、ともに進み成長していくために、どのような行動を大切にしていきたいかを定めました。創業以来培われたDNAを継承しながら、共有する価値観や行動を明らかにし、より強い組織文化の形成を目指します。

- 誰に対しても誠実に**
 わたしたちの原点は、社会を豊かにするモノづくり。誠実に向き合い、改善を積み重ねてきました。未来に向けて、より大きな世界へ誠実の輪を広げてゆくことで、人と地球の幸せを支えます。
- 変化を楽しむ**
 世の中が求める変化には、共感が集まります。想いを同じくする仲間との出会いをもたらし、よりよい未来の可能性がひらかれます。変化に向き合い、ポジティブに。心を弾ませながら、一緒に楽しみます。
- 自ら行動する**
 先輩たちの想いと行動の積み重ねで、いまがあります。次はわたしたち。風を起こす。自分の意志で、目的を持って。たとえ前例がなくても、簡単に答えが見つからなくても、一歩を踏み出し、よりよい未来を迎えにゆきます。
- 想像し創造する**
 理解がおよぶ領域に留まらず、知っている世界に閉じず、まだ生まれていない生命にまで想いを馳せる。人と地球の幸せのため、やりたいこと、やるべきことを想像し、目指す未来を創造します。
- 受け入れて力に**
 違いの数だけ可能性がある。強く、優しいチームになれる。自分とは異なる価値観や視点を受け入れ、多様性を力に変える。一人ひとりが想いとアイデアを持ち寄り、健全にぶつけ合いながら、一緒に磨きあげます。



POLICY

—サステナビリティの考え方—

自然とともに歩む
ナガセヴィータは、
事業を通じて
持続可能な社会の
実現に
貢献します。



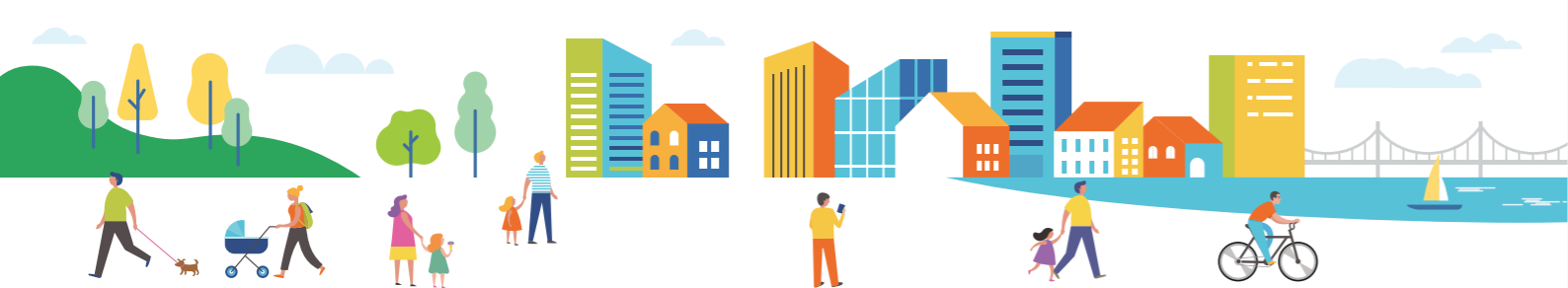
ありたい姿実現のための風土改革

インテグリティの推進

クオリティカルチャーの推進

インテグリティとは「誠実」、「真摯」、「高潔」などの概念を表す言葉で、「すすんで良いことをしよう」という能動的な姿勢を意味します。国際的にもコンプライアンス経営からこの考え方にシフトしつつあります。当社は、透明性と緊張感のあるガバナンス運営のなかでインテグリティの浸透・啓発を推進するとともに、関連に対話ができる職場の風土づくりに取り組んでいます。

安心安全な製品を安定してお届けする仕組みを下支えするクオリティカルチャーの浸透・定着に努めます。品質保証部門内では、めざす姿の意思統一と浸透を推進していきます。また、日本規格協会などが主催する「品質月間」の期間に合わせて社内に啓発記事を発信するなど、品質を身近に感じる環境を整えます。



MATERIALITY

—わたしたちの目標—

2030年のありたい姿に向けて、いまなにをするべきか。なにができるのか。
SDGsのテーマをふまえながら経営陣と社員が意見を交わし、
4つのマテリアリティ(重要課題)を定めました。

4つのマテリアリティ

1 健康寿命延伸への貢献



変化する市場の期待に応えられるように自社の技術を磨きあげ、ユニークで研ぎ澄まされた素材、技術、情報を適切に提供し、世界の人々のウェルビーイングの実現に貢献します。

2 安定的な食料確保



サプライチェーン全体でのロス削減と、農業・畜産・水産など既存食資源の生産性向上に努めます。また、次世代食資源の開発を産学官のパートナーシップを通じて実施し、持続可能で安定した社会の実現に貢献します。

3 社員エンゲージメントの向上



多種多様な社員が、健康でやりがいをもって働き、個々の能力を最大限に発揮できる職場をつくります。また、社員同士が互いを尊重し、切磋琢磨しながら成長していく環境を提供します。

4 環境負荷の低減



事業活動を通じて自社が発生させる環境負荷を低減する努力を行うとともに、環境課題の解決に貢献する製品や技術開発に前向きに取り組む、地球と共生できる企業を目指します。

ACTION

—わたしたちの行動計画—

マテリアリティ(重要課題)に取り組むため、サステナビリティ行動計画を策定しています。
全社でベクトルを合わせるため、2030年にわたしたちが目指す“ステークホルダーの皆さまへの提供価値”を明確化し、迅速かつ具体的な行動に移しています。

行動計画について詳しくはコチラ >



1. 健康寿命延伸への貢献

健康寿命延伸への貢献は、医薬品添加材を扱うビジネスと密にリンクしています。自社ブランド「SOLBIOTE®」とナガセヴィータを医薬品業界の誰もが知っている存在にし、人々の暮らしの質向上に貢献していきたいです。

▶P.07をチェック

Y.S.さん
担当:
ブランド名称、コンセプトの作成、ブランド発信企画の立案、製品資料の作成



トレハロースというユニークな物質に特化した分野横断型の研究会で新たな研究のきっかけが生まれ、その成果がさらに幅広くグローバルな社会課題解決に寄与することを期待して取り組んでいます。

▶P.09をチェック

N.A.さん
担当:
トレハロースシンポジウムのオーガナイザー。各部門と連携、演者依頼・運営



2. 安定的な食料確保

海外ではトレハロースを使ったフードセキュリティへの取り組みが実用化に向けて進んでいます。トレハロースシンポジウムを通じて、その新技術を国内にも周知したい想いで担当しました。

▶P.09をチェック

T.H.さん
担当:
トレハロースシンポジウムへの海外演者の招聘



ナガセヴィータ独自の技術で生み出された食物繊維素材(ファイバリックサ®、テトラリング®)は、健康と美味しさの両立を実現できます。人々の心と体の健康に貢献できるよう、この素材の価値をもっと世に広めていきます。

▶P.08をチェック

M.F.さん
担当:
プロダクトマネージャーとして、当社の食物繊維素材の価値を提案



4つのマテリアリティ(重要課題)に対しての、わたしたちの取り組みとそれに携わるメンバーの想いを紹介します。

わたしたちの

取り組みへの想い

皆さま未来の実現のため、社員一人ひとりが考え、行動に移しています。

ナガセヴィータで働いていることで健康になれる、そんな会社になりたいという想いから、性別世代を問わないさまざまな取り組みを通して、社員の健康を支えています。

▶P.11をチェック

R.O.さん
担当:
健康経営の推進、健康経営戦略マップ「ウェルビーイングへのストーリー」の策定、健康チャレンジの実施



3. 社員エンゲージメントの向上

3年前から異文化理解の研修とセットで海外出身者との座談会を導入しています。わたしたちは皆同じで皆違うことがあたりまえな感覚を養い、柔軟に多様性を受け入れ、力にしていける風土づくりに貢献できれば本望です!

▶P.12をチェック

N.H.さん
担当:
新入社員研修での「異文化理解」研修、海外出身社員との座談会



環境への取り組みが、支出だけに終わらず収益につながることを意識(期待)しています。活動の範囲を温室効果ガス排出量だけでなく、水資源や廃棄物削減、生物多様性などに広げることを考えて取り組んでいます。

▶P.13をチェック

M.H.さん
担当:
環境マネジメント事務局運営、各種環境パフォーマンスの算定、現場の取り組みを社内へ発信



4. 環境負荷の低減

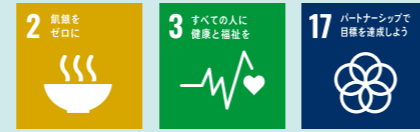
N.O.さん
担当:
省エネ検討会を通じて省エネ投資の検討、NAGASEグループ製造業連携委員会に参加、情報共有



次ページから具体的な取り組み内容をご紹介します

自然由来の力で、 世界の人々のウェルネスに貢献します。

途上国では栄養が足りず危機的状況にある命があります。
一方、先進国では栄養過多や偏食が社会課題となっています。
わたしたちは、人生100年時代を健やかに暮らすための
素材や技術、情報の提供に努め、自然由来の
素材の力で世界の人々の健康寿命延伸に貢献します。



マテリアリティ 1 健康寿命延伸への貢献

Action Report —ナガセヴィータの取り組み—

バイオ医薬へのソリューション



すべての人に平等な
ウェルビーイングを届けるために

新ブランドとしてグローバル展開した「SOLBIOTE®」は、高純度・低エンドキシンの糖質医薬品添加剤「トレハロースSG」「マルトースPH」で、でんぷんと酵素技術を用いて環境に配慮された製法で作られています。抗がん剤等のバイオ(抗体)医薬品の品質安定化に寄与し、保存や輸送における課題解決を通じて、より多くの人々に医薬品を提供できるよう貢献します。

フードマイスターがアスリートを支援

競技者の食事と
パフォーマンスをテーマに講演

アスリートフードマイスター1級の資格をもつ社員が、「岡山県トレイルランニング協会フォーラム2023」にて、競技者の食事とパフォーマンスをテーマに講演を行いました。講演の中では「トレハ®」が運動時のエネルギー源として活用できる糖質であることも紹介しました。また、岡山共生高校のeスポーツ部に協力し、プロアスリートをめざす高校生に向け献立の提案や食育座談会などを行いました。



食物繊維をより摂取しやすく

日常的な健康寿命延伸に貢献

不足しがちな食物繊維。わたしたちが開発・製造している水溶性食物繊維素材「ファイバリクサ®」「テトラリング®」は、見た目や味を損なわず摂取しやすいことから、コンビニやスーパーで販売される飲料やパンなどへの採用が増えています。付加価値のある素材を通じて、日常的な健康寿命延伸に貢献しています。



恒常的な取り組み

産官連携で
健康寿命延伸イベント開催

岡山市と共催のイベント「岡山ウェルネス」で各種健康チェックや測定会を実施したほか、近畿大学の山田秀和先生を招き「アンチエイジング医学」をテーマにライブセミナーを開催しました。

高齢者食や介護食の
課題を解決

「スマイルケア食コンクール」や「嚥下食メニューコンテスト」に協賛。高齢者食やメディカル給食において、肉や魚を柔らかく仕上げる多機能糖質「トレハ®」を紹介しました。

ボトルキャップから
ワクチンを

社員運営の全員参加プロジェクト主導。NPO法人「Reライフスタイル」を通じて、ペットボトルキャップのリサイクルから生まれた対価を、世界の子どもたちへのワクチン代として寄付しました。



Permanent Efforts

サステナブルな未来をトレハロースで



第25回トレハロースシンポジウム開催

日本応用糖質学会後援のもと、マサチューセッツ工科大学のマレリ准教授による「耕作不適地における農業を可能とするトレハロースを配合した種子コーティング技術」、当社社員による「トレハロースの飼料用途開発～サステナビリティへの貢献～」など6演題が発表されました。各演題発表後の総合討論では、会場参加者も交えながら積極的な意見交換が行われました。

食料問題を解決しながら地球も人も健やかに

プラントベースフードを よりおいしく

注目の「プラントベースフード」には地球環境の保護・食料問題解決に加え、生活習慣病のリスク低下など健康上のメリットもあります。当社の多機能糖質「トレハ®」や酵素「デナチム® LEP 10P」は、大豆やエンドウ豆など植物由来素材特有のにおいや食感を改善し、素材本来のうまみ・甘みを際立たせ、プラントベースフードのおいしさや食べやすさの向上に貢献しています。



おいしさ長持ちで食品ロス低減

賞味期限を延長し 安定的な食料確保に貢献

賞味期限延長に貢献する多機能糖質「トレハ®」が、食品ロス低減に向けて注目されています。でんぷんの老化を抑制し、柔らかさを保持、パンや餅などに使われています。2023年度は「健康寿命延伸、安定的な食料確保に貢献する食品への採用：200件」を目標に掲げ、447件を達成。うち安定的な食料確保への貢献は380件でした。



恒常的な取り組み

人と自然に やさしい農業へ

トレハロースによるバイオ肥料の安定化効果で化学肥料の使用を低減します。農作物のストレス耐性の向上にもトレハロースは効果を発揮。自然環境や作り手への負担を軽減します。

国連WFPの活動支援

国連WFPの使命「飢餓と貧困を撲滅する」に賛同（P15参照）。学校給食支援や緊急支援への寄付を行うことで「安定的な食料確保」に多面的に貢献しています。

酵素の力を 食肉の課題解決に

世界的に原料価格が高騰するなか、すじの多い肉でも柔らかく、食べやすくすることができるたんぱく質分解酵素「デナチム® PMC SOFTER」の活用を食品業界へ提案しています。



©WFP/Evelyn Fey

Permanent Efforts

マテリアリティ 2 安定的な食料確保

持続可能な食料システムの構築に貢献します。

気候危機や人口増加で世界的な食料不足が危惧されています。自社の素材や技術による農作物や畜産物の生産性向上、産学官連携による次世代食資源の共創により、持続可能な食料システムの構築に貢献します。



働く喜びを 豊かな未来につなげます。

会社と社員が同じ方向を向きながらも、
多様な個性を活かせること。
社員の心身の健康を守ることで、
より良い未来の創造に、
一丸となって邁進する企業をめざします。



マテリアリティ ③ 社員エンゲージメントの向上

Action Report —ナガセヴィータの取り組み—

エンゲージメントに関する対話促進



対話の活性化により 業務の連携がスムーズに

経営陣と社員が「2030年のありたい姿」をテーマに直接対話する取り組みを継続、2023年度から統合した福知山事業所でも展開しました。また、社員主導の「全員参加プロジェクト」では、チームの課題解決のための対話を促進することにより、対話が活性化し、社員間の相互理解が深まりました。そこで得た気づきを日々の業務に活かしています。

こころの健康も大切に

ウェルビーイングセミナー開催

社員が幸せに働くための各種研修・セミナーを開催しています。2023年度は「マインドフルネス研修」、「女性のための美と健康セミナー」を通し、こころとからだの健康がより充実した会社生活につながることを発信しました。また、健康推進課所属の産業看護職が社員の健康をケアする相談会も定期開催しています。



ダイバーシティを推進

海外も視野に個を活かす職場へ

多種多様な社員が能力を最大限に発揮できる職場づくりに努めています。海外出身の社員も社内でも活躍しており、新入社員研修では「異文化理解セミナー」や海外出身社員との座談会を実施しています。また、行動指針「バリュー」の策定や、キャリアシートの運用を通して、社員個人の自律を促す取り組みを進めています。



恒常的な取り組み

ワークライフバランスを促進

フレックスタイム制度やノー残業デー、テレワークの導入、男性の育児休暇取得の啓発活動、アニバーサリー休暇のトライアル実施など、仕事とプライベートの調和を支援しています。

笑顔も実る社宅の菜園

社員やご家族のウェルビーイングを推進するために、社宅敷地内に菜園を設けて四季折々の野菜や果物を栽培しています。収穫した野菜を社員食堂にも提供し、おいしいと好評です。

シーンに合わせたワークスペース新設

新設オフィスに「個人ブース」「打ち合わせブース」「集中ブース」「カウンタースペース」を設置。海洋プラスチック再生材料の椅子を採用し、プラスチックゴミ134.02kgの削減にも貢献しました。



Permanent Efforts

多様な取り組みで環境負荷を低減



EcoVadisプラチナ獲得につながる CO₂排出量削減推進

省エネ・創エネ・再エネに取り組み、「CO₂排出量総量1.8%削減」を達成。具体的には排水処理循環ポンプのインバーター化や冷水ポンプの休日停止及び運転立上時間の短縮などを実施。2023年度使用電力総量の1/4をCO₂フリー電力に切替え、「環境通信」の定期配信も。意識改革による取り組みの積み重ねが「EcoVadis」プラチナ評価の獲得につながりました。

鉄道輸送を推進しCO₂削減に貢献

国土交通省が評価 「エコレールマーク」認定

環境にやさしい鉄道輸送の比率を高めている当社では、工場から出荷される各種商品の500km以上の陸上輸送における鉄道利用比率は40%以上、「トレハ[®]」は44%以上を達成しています。この取り組みが国土交通省に評価され、「エコレールマーク取組企業」に認定されるとともに、『トレハ[®]』は「エコレールマーク商品」に認定されました。



公益社団法人鉄道貨物協会による贈呈式

地球にやさしいパーソナルケア素材

外部機関で易生分解性を確認 サステナブル需要に対応

当社のパーソナルケア素材7種の「易生分解性」が確認されました。環境負荷低減の指標の一つとして「生分解性」が注目されるなか、外部の試験機関にて国際的なガイドラインにもとづき分析し、地球環境にやさしいことを示すエビデンスが得られました。今後も世界的に高まるサステナブル素材の需要に応え、持続可能な社会に貢献します。

■生分解度試験の方法
OECD試験ガイドラインに基づき実施。60%以上が生分解される場合、「易生分解性」と判定する。
試験ガイドライン:OECD Guidelines for the Testing of Chemicals, No. 301F, July17, 1992



恒常的な取り組み

IFSCC (国際化粧品技術者会連盟) で CFP削減への取り組みを発表

バルセロナ大会にて当社製品のCO₂排出調査結果を発表。化粧品原料におけるCFP値の算出は、環境パフォーマンスを示す重要な取り組みで、業界を牽引するものと高く支持されました。

自然にやさしい排水処理

半導体などの製造に使われる過酸化水素は、環境負荷のある素材です。当社の微生物由来の酵素「カタラーゼ」はそれを無害な水と酸素に分解し、工業生産と環境保全の両立に貢献しています。

木製パレットの 再利用化を推進

輸入原材料の運搬に使われる木製パレットは廃棄前提でした。しかし、環境負荷低減のため、国内の製紙メーカー、衣料メーカーなどと連携し、再利用化を実現しました。

Permanent Efforts

マテリアリティ 4 環境負荷の低減

プラネタリーヘルス実現のため 人と地球の調和をはかります。

地球と共生する企業として、ふたつの方針で環境負荷を低減します。
ひとつは自社の事業活動における環境負荷の低減。
もうひとつが、環境課題の解決に貢献する製品や技術の開発です。
また、これらの成果を環境パフォーマンスデータとして可視化し、向上に努めています。



外部からの評価



「EcoVadis」プラチナの評価

サプライチェーンに関する国際的な評価機関であるEcoVadis社(フランス)のサステナビリティ調査で最高位のプラチナを獲得しました。「プラチナ」は、対象企業のうち、スコアが上位1%以内の企業が認定されるものです。



健康経営優良法人 2024

経済産業省と日本健康会議より、とくに優良な健康経営を実施している法人「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。



スポーツエールカンパニー 2024

スポーツ庁より、従業員の健康増進のためにスポーツを促進する企業として「スポーツエールカンパニー 2024」に認定されました。



エコレールマーク 取組企業

国土交通省より、環境にやさしい貨物鉄道輸送を積極的に取り組む企業として「エコレールマーク取組企業」に認定されました。

賛同するイニシアチブ



国連グローバル・コンパクト

世界的な取り組み「国連グローバル・コンパクト」に署名。10原則(人権・労働・環境・腐敗防止)を尊重し、より一層サステナビリティの取り組みを推進していきます。



国連WFP

国連の食料支援機関・国連WFPの使命に賛同。国連WFP協会のコーポレートプログラムのパートナーとして寄付を通じた支援活動を実施します。



国連食料システムサミット2021

米国で開催された「国連食料システムサミット2021」にコミットメント。当社の自然由来の素材で、持続的な食料システムの実現に貢献します。



東京栄養サミット2021

日本政府が開催した「東京栄養サミット2021」に賛同。食品素材で人と地球の健康を支えながら、安全で持続可能な健康食の普及を推進します。

*EcoVadis社は、180カ国以上の国で、220以上の業種、130,000社以上のサプライヤー企業の持続可能性を調査し、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資源調達」の4つの分野で評価します。

Topics 2023 — 2023年度 トピックス —

- 2023/06/06 アトラエ社が運営するメディア「DIO」にて 当社の社内活動「全員参加プロジェクト」が紹介されました。
- 2023/06/09 「新しい低分子食物繊維「テトラリング®」の開発」で、大阪工研協会の「第73回工業技術賞」を受賞しました。
- 2023/07/20 農林水産省の「SDGs×食品産業こどもページ」に当社の取り組みが紹介されました。
- 2023/09/05 当社の食料システムに関するコミットメントが「2022世界栄養報告(2022 Global Nutrition Report)」に掲載されました。
- 2023/09/13 NHKの国際放送「NHK World-Japan」で、物流の2024年問題に関する当社の取り組みが紹介されました。
- 2023/12/12 COP28(第28回国連気候変動枠組条約締約国会議)においてリーダーシップインタビューを受けました。
- 2023/12/18 アトラエ社のメディア「DIO」の「Wevoxユーザー交流会in広島を初開催」にて、当社の取り組みが紹介されました。
- 2023/12/22 岡山大学研究協力会のWebに当社研究員のインタビューが掲載されました。
- 2024/01/15 雑誌「FRaU」SDGs特集号に「酵素」に関する記事広告を掲載しました。
- 2024/02/03 「京都府地球温暖化対策条例」に係る優良事業者として受賞しました。
- 2024/03/28 「ニューズウィーク日本版」WEBで日本の紙文化財を守る素材として当社の「新古糊」が紹介されました。



COP28においてリーダーシップインタビューを受けました

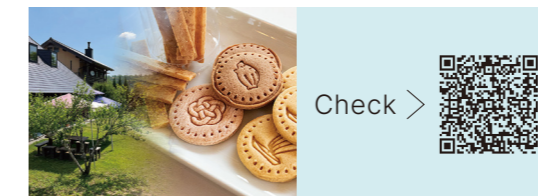


「京都府地球温暖化対策条例」に係る優良事業者として受賞

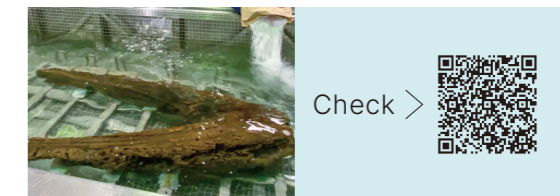
Sustainable Stories 2023

ナガセヴィータのパートナー企業・団体による持続可能な社会に向けた取り組みをご紹介します。Webマガジンです。二次元バーコードよりぜひご覧ください。

みんながおいしい、みんなでおいしい。米の里から届けるアレルゲンフリースイーツ



意外な分野でも活かされる糖質の力。トレハロースを用いた埋蔵文化財の保存処理



迫り来る「物流2024年問題」を見据えて。持続可能な物流の実現を目指す運送会社



日本伝統の藍の文化を今に活かす。心も身体も癒される「藍治場」づくり



Nagase Viitaの貢献分野

高度な技術によって生み出される品質の高い素材で
人々の暮らしに彩りを与え豊かさをもたらし、
良い製品を提供することで持続可能な社会に貢献します。

食品素材

食品のおいしさを支える糖質や酵素、健康維持に役立つ機能を備えた食品素材で、わたしたちの生活を楽しく豊かにします。

医薬品素材

抗体などのたんぱく質を安定化し、バイオ医薬品の品質維持を通して、より多くの人々への医薬品の提供を支えます。

ウェルネス製品

OTC医薬品「錠剤ルミン®A」や化粧品原料となる感光素を通して、人々の暮らしと健康を支え、ウェルビーイングを届けます。

パーソナルケア素材

地球環境に配慮したパーソナルケア素材を開発・提案することで、人々の健やかな美しさに貢献します。

機能性色素

情報記録からライフサイエンスまで幅広い分野に使われる機能性色素。一万種以上の色素を活かし、快適な社会づくりに貢献します。

工業・農業・飼料など

自然の力を活かして作られた素材をさまざまな分野で用途開発を進め、サステナブルな未来に貢献します。

会社概要

(2024年4月1日現在)

会社名 ナガセヴィータ株式会社 Nagase Viita Co., Ltd.
創業 明治16年(1883年)
設立 昭和7年7月10日
代表者 代表取締役 安場 直樹
本社 〒700-0907 岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル新館
TEL:086-224-4311 FAX:086-224-8492
資本金 5億円
株主 長瀬産業株式会社(100%)
従業員数 797名
事業内容 食品原料、医薬品原料、化粧品原料、健康食品原料、機能性色素、酵素、リン脂質の開発・製造・販売

主な事業所



NAGASEグループについて Delivering next.

ナガセヴィータが一翼を担うNAGASEグループは、1832年に京都で創業した化学系専門商社の長瀬産業株式会社を中核とする企業グループです。国内外に約100社のグループ企業を有し、「ものづくりの課題を素材を通じて解決する」NAGASEグループは世界を舞台に化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等、さまざまな価値を提供してきました。これからも「今」の課題解決に加えて、「next=次」の社会や人類の課題解決に対し、新たな素材、次なるマテリアルを通してグループをあげて挑戦していくことで、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献します。

NAGASEグループの サステナビリティ基本方針

サステナビリティを巡る課題への対応は、NAGASEグループが経営理念に掲げる「誠実正道」の精神や、ビジョンに掲げる「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」に通じます。社会・環境課題の解決に貢献する企業活動を継続することにより、持続的な成長が可能になると認識し、サステナビリティ活動方針を定めて積極的に取り組んでいきます。

NAGASEグループの非財務目標(KPI)

2つの目標に対する取り組みを定量的に評価し、モニタリングしています。

- 従業員エンゲージメント向上
NAGASEグループでは、持続的成長を実現するには従業員エンゲージメントの向上が最重要と認識し、目指す状態を「会社(組織)と従業員が相互に理解し合い、お互いを高め合う状態」と定義しました。グループ内での「従業員エンゲージメント」の理解・浸透を目的に、定期的なエンゲージメントサーベイの実施を推進しています。
- カーボンニュートラル
グローバルに事業を展開するNAGASEグループにとって、気候変動への対応は重要な課題と認識しており、2050年までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの達成(Scope1,2)を掲げています。加えてScope3についてもサプライチェーンとの対話をすすみ、12.3%以上の削減(2020年比)目標を掲げています。